

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	体格の差があるため、机の高さの見直しをおこなってまいります。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	10	1	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	送迎や見守りの人員が必要なことがあるため人員配置を見直してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		学習室、プレイルームと児童がわかりやすいような環境を整えております。	トイレの照明が暗く明るいものに変更を検討してまいります。 トイレの照明を自動点灯ではなくスイッチのものに変更を検討してまいります。 男性用のトイレが利用児童に対して大きすぎるため検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	常に安全面に配慮して児童の活動に合わせた空間を意識しております。	定期的にエアコンの清掃を業者にさせていただきたく思っております。 雨天時は温度が高く、床が滑りやすい上に、玄関の隙間から雨水が侵入してくるため改善策の検討をしております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	個室はありませんが、クールダウンや休養、個別に別室での療育が必要な時に別室を使用しております。 パーテーションを使用して空間を区切って環境の工夫をおこなっております。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		PDCAサイクルをおこない、事業所職員間で情報共有をおこなっております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		保護者様からいただいたご要望をその都度共有し、取り入れられるものから対応しております。 保護者様にも評価表を依頼し、話し合いの機会を設けて改善に繋げております。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		ミーティングやリフレクション会議等で発言する機会を設けております。 朝礼などの時間を利用し、職員間で情報共有をおこない、業務改善に繋げております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		虐待防止、身体拘束、感染症予防等の研修は毎年実施しております。	研修の内容は通告しているが、業務上希望通りに参加できない場合があるため参加機会を確保できるように努めてまいります。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		半年に一回のペースでアセスメントシートを基に保護者様と面談をおこない、困り感や課題をうかがい、目標設定をしております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		毎月会議をおこない、児童について話し合い、情報共有をしております。 職員の意見を参考にしながら児童の最善の環境を提供し、支援できるように取り組んでおります。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		個々に合わせた支援をおこなっていくるように職位間で共有しております。 気分や成長など共有しながらレベルアップを図っていくように支援しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		適応行動や状況など丁寧な聞き取りを実施できるように統一されたアセスメントシートを活用しております。	
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も含まれながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		児童発達支援ガイドラインに記載されている内容を踏まえて個々に合わせた本人支援、家族支援、移行支援、地域支援、地域連携計画を立て、具体的な内容を協議して作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		業務分担当をおこない、集団活動プログラム等月ごとに計画を立てて実践しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		業務分担当を行い、集団活動プログラム等月ごとに計画を立て実践しております。 その月にあった行事や制作をおこなえるようにリフレ等を活用し話し合いをおこなっております。	手づくり教材だけでなく、市販の教材を購入し教育に取り入れることを検討してまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		子供の状況に応じて個別や集団療育の時間や内容を調整しながら支援をおこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		打合せ時間は短くなってしまいうこともありまが職員間で役割分担をおこない、連携して支援をおこなえるようにしております。 朝礼の時間を活用し児童が来所する前に話し合いをおこなっております。	送迎や出勤時間により全職員が参加することが難しいため参加できるように検討してまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	7	4	計画的な時間確保が難しい中で、振り返りの共有をおこない、園や保護者への伝達をおこなうよう心掛けております。 送迎等で全員で集まることは難しいですが数名での情報共有をしております。	全員が参加することが難しく、職員ノートでの伝達してまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		支援をおこなったその日のうちに保護者様用の連絡帳、事業所の記録を徹底しておこなっております。 個人経過記録を作成している為いつでも、誰でも見返せるようにしております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		適切に定期的なモニタリングを実施し、保護者様から話しやすい環境を整えて、児童や保護者様の意向を確認し、計画書の見直しをおこなっております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		担当者会議や関係機関会議等、急なケース会議にも積極的に参加するようにしております。 児発管だけでなく、職員も参加できる際は参加するようにしております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		地域の協力・連携体制を整え、春と秋にそれぞれ2回の健診や相談等を実施しております。 園や障害福祉課、学校教育課とも連携し、地域支援の体制づくりに努めております。	
関係機関や保護者との連携	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		個々の特性に合わせた支援の方向性を考え、相談員や関係機関との情報共有をおこない、併用や就園、就学相談等の促しを積極的に実施しております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3	保護者様と情報共有し、保護者様から学校等に相談していただいたり、直接電話で相談をおこなったりしております。	
	(28～30は、センターのみ回答)	11		センター連絡会議に参加し、センター業務の見直しや、各事業所センターによる課題や協議に沿って意見交換をおこない、センター事業所としての質の向上を目指しております。 大村市の各事業所に呼びかけをおこない、研修や事例検討会をおこなっております。	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	6		専門職の外部研修に参加していただきたい意思是強くあるがなかなか実施できていないため、今後の課題としてどうしたら参加できるかを検討してまいります。
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11		児童発達支援管理責任者がこども部会に毎月参加しており、地域の関係機関と様々な協議をおこない、積極的に意見交換をおこなっております。	
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受けられる機会を設けているか。	11		必要に応じて事業所への見学、観察をしていただき、振り返り、助言を頂いております。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	同法人事業所同士の子どもたちと一緒に園外のボランティア活動(人形劇)の観劇をおこないました。	地域の子どもたちとの交流は秘密保持の観点からもう少し難しいため交流できる方法を検討してまいります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11		日頃より情報共有をおこなっております。 送迎時や家族支援の際や、連絡帳を活用しお話しすることができております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		保護者様から相談をいただくことがあればアドバイス等をおこなっております。 担当者会議や個別相談を通じて必要と感じるご家庭に対して家族支援などをおこなっております。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約時に説明をおこなっております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		児童や保護者様のご意向を踏まえ、児童の将来像を見据えた計画を作成しております。 定期的にアセスメントをおこない、保護者様のご要望を聴取しております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		保護者様から聞き取りしたニーズを総合的な支援、短期または長期の支援目標それぞれを踏まえて丁寧に説明をおこない、同意を得ております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		適時相談に応じており、必要に応じて会議を実施しております。 日頃から児童の様子などを保護者様と共有し、相談しやすい関係性を作れるよう努めております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	11			実施したいと思っておりますが個人情報や業務上の都合により計画できていないため、機会を設けることを検討してまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		相談があった場合には迅速に対応し、助言や提案をおこなうようにしております。 送迎の際に保護者様から相談があった場合はすぐに事業所に持ち寄り、児童発達支援管理責任者等に相談し、対応できるようにしております。	
	41 定期的に通信等を送付することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		HUGアプリ登録をしていただき、個々の活動内容や、こどもカレンダーを通して全体活動(行事活動)をいつでも見られるようにし、連絡体制を整えております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの重庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		保護者の気持ちや受け止め、環境や職員配置(同性でのトイレ介助等)の配慮をおこなっております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			今後の課題である年間行事等に組み込みながら運営を図っていくように検討してまいります。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		職員間で担当業務を確認し、年間計画を立て、実施・記録をおこなっております。 作成したマニュアルについては都度周知し、内容の理解と実践に努めております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		災害時に備え、災害用伝言ダイヤル訓練をおこなっております。 BCPを策定し定期的な避難訓練を実施しております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	11		契約時に詳細な聞き取りをおこない、必要な情報の把握に努めております。 また、必要に応じて投薬依頼書をご提出いただくようにしております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2	アレルギーのある児童に対して、医師の指示のもと現在の状況を聞き取り対応しております。 アレルギーの記載表を分かりやすい位置に貼り、職員間で共有しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	11		安全管理講習を年に一度実施しております。	
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	11		保護者が安心して預けることができるように訓練や研修を実施し、周知しております。		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハットについては、危険の予測や再発防止の観点から重要と位置付け、作成・共有をおこなっております。	提出が少ないように感じているため、再発防止のため少しでも危険と感じた場合は作成するように努めてまいります。	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		虐待防止研修をおこない、事業所内においても共有し、周知するようにしております。 事業所内で虐待防止研修をおこなうようにしております。		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		利用契約時に計画書および同意書の説明をおこない、身体拘束についても事前にご説明し、保護者様のご理解とご承諾を得ております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。